

Fuji Champion Race Series Round 4

2019.9.21 SAT - 22 SUN

ROADSTER CUP Round 3



富士チャンピオンレース第4戦は第3戦を迎えたロードスターカップで幕を開けた。6クラス混走で開催されるこのレースとなるが、土曜日朝一番での予選で総合トップタイムだったのは1.8クラス 35 YotアクレNB8 山田健介 2'08.704。フロントローには同じく1.8クラスの91 samsuロードスター 神谷誠が2'08.867で並ぶ。総合4番手には2.0OPクラストップの77 NDSエンジニアリング 長岡哲也が2'09.239。総合9番手には1.6クラス 76 辻本運輸アクレNA6 辻本均。その後ろには1.5OPクラス 7 JoyアクレMotys☆ND5 茂木文明。2.0CHトップは8 ド☆ライダーロードスター ED 菊池聡 2'11.992。1.5CHは20 SYMS楡クリロードスター 五賀貴男 2'14.504の順に。曇り空の中の決勝ではスタートからトップ争いが続き、5周目には91 神谷がトップに立ち2番手争いを後目に徐々に差を広げ9週の決勝をトップチェッカーで駆け抜けた。1.6クラスは5周目に各クラス入り乱れての混戦の中、34 AKC内藤板金WinmaxNA 竹田幸一郎がトップを

奪いクラス優勝。レース後の各クラス優勝者のコメントは1.6 34竹田「ようやく辻本さんに勝てました！棚ボタですがとても嬉しい！」1.8 91神谷「ここ2、3年、表彰台にも上がらないレースが続いたのでメチャメチャ嬉しい！」1.5OP 7茂木「1.6クラスをうまく使って逃げ切れることが出来ました」1.5CH 20五賀「今シーズン初優勝なのでとても嬉しいです」2.0OP 77 長岡「7回目の出場で77号車、ラッキーナンバーが3つ揃って優勝できました」2.0CH 50 藤澤卓也「菊池さんをうまくかわせて勝つことが出来ました！」と語った。



RESULT リザルト

1.5 Open

Rank No.	Name
1	7 茂木 文明
2	79 杉浦 良
3	13 杉山 俊



RESULT リザルト 1.5 Challenge

Rank No.	Name
1	20 五賀 貴男
2	32 原嶋 昭弘
3	103 松尾 康博
4	78 赤石沢 清人
5	28 藤吉 健一
6	22 中桐 孝治



RESULT リザルト 1.6

Rank No.	Name
1	34 竹田 幸一郎
2	73 高橋 功典
3	76 辻本 均
4	27 野木 強
5	2 渡邊 達也



RESULT リザルト 1.8

Rank No.	Name
1	91 神谷 誠
2	55 澤田 薫
3	35 山田 健介
4	88 橋本 悠亮
5	15 中村 英貴



RESULT リザルト 2.0 Open

Rank No.	Name
1	77 長岡 哲也
2	1 高橋 裕史
3	19 山口 幸治



RESULT リザルト 2.0 Challenge

Rank No.	Name
1	50 藤澤 卓也
2	8 菊池 聡
3	18 神尊 晴幹

86&BRZ/8Beat Round 3



今シーズン後半戦に入る第3戦となったこのクラス、前回から2週のインターバルというタイトなスケジュール開催となった。土曜日朝の予選でポールポジションを獲得したのは8Beat JP-2R 99 プロコンボジットBLITZ86 古田聡2'02.621。フロントローにはJP-2S 77 ポートアクールユニオン86 広瀬安浩 2'02.623で並ぶ。3番手には86&BRZクラストップで3 145SKR イケダ86 西山隆2'02.693でコースレコードを更新。その後ろには222 AVANTEIDCCBRZ 松下浩平2'02.882が並び、今回ポイントランキング上位の2台が後方からのスタートとなり、決勝では混戦が予想された。決勝ではトップの99 古田がやはり逃げる体制を取り、徐々に2位以下との差を広げる。86&BRZはやはり予選総合9番手のポイント2位の53 86Racers桂号桂涼がオープニングラップで3 西山の背後まで追上げるも2周目に

100Rで痛恨のスピン。また、7周目には総合トップを快走していた99 古田がマシントラブルでピットインし、そのままレースを終えた。86&BRZクラスはその頃も終始激しいトップ争いが続き、9周目には一旦最下位まで落とした53桂が怒濤の追いでクラストップまで順位を上げ、そのままトップでチェッカーを受けた。レース後のコメントは、総合優勝の77 広瀬「クラスでは2連勝していましたが、総合ではなかなか難しかったのが、古田さんが調子が悪そうだったので勝つことができました。この調子で最終戦も頑張ります」86&BRZ 53桂「スピンしたときは終わった！と思いました、タイヤを温存しながら最終ラップに賭けました！勝てて嬉しい」と語った。



RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No.	Name
1	53 桂 涼
2	222 松下 浩平
3	3 西山 隆
4	54 土山 哲史
5	31 福田 憲司



RESULT リザルト 8Beat 2S

Rank No.	Name
1	77 広瀬 安浩
2	15 鶴塚 直人
3	750 鍛冶田 昇



RESULT リザルト 8Beat 3S

Rank No.	Name
1	313 綾野 興
2	44 小林 純矢
3	06 坂本 猛彦
4	72 堀 舜之



RESULT リザルト 8Beat 2R

Rank No.	Name
1	99 古田 聡



RESULT リザルト 8Beat 4S

Rank No.	Name
1	34 常盤 岳史

MINI CHALLENGE ASIA JAPAN SERIES 2019 Round 4



RESULT リザルト	
Rank No.	Name
1	19 松本 武士/奥村 浩一
2	10 勝亦 勇雅
3	1 一條 拳吾
4	8 LAI Chi Ho
5	15 LIN Zhe
6	5 松田 秀士/猪爪 杏奈

SILVIA・ALTEZZA/NA1600 MR2/AE86/AE111 ROADSTER N1 Round 2



第2戦を迎えたこのカテゴリーは6クラスに分かれて合計27台のエントリー。日曜日の予選でトップタイムを出したのはNA1600 36 ACREワコーズハナシマレピン 大石重之1'56.092。シルビア・アルテツァの15 S15シルビア 山崎浩明が1'58.024でコースレコードを更新してそこに続く。AE111トップは91 MAS・IDI・DL・レピン 船木周一の2'03.075。MR2は78 ダイエーモータースDXLMR2 谷田伸之2'04.157。AE86では240 ガレーシアネックス・μ・レピン 山口崇2'05.665。ロードスター N1はS耐やパーティレースでおなじみの88 村上モータースNDロードスター 村上博幸が新型ロードスターを持ち込んでの初参戦で初ポール。12:55にスタートした決勝では、オープニングラップで一旦順位を落としたもののすぐに取り戻した36 大石が徐々に2位以下に差を広げていきポールトゥウィンを決めた。レース後、NA1600 総合優勝の36 大石は「ぶっちぎりで逃げ切りました。気温が上がってきてタイヤはつくなくなっていったもののマシンはとて調子よかったです」AE111は予選でクラス2番手から激しいトップ争いを制した98 MAS91K/F・IDIトレノ 窪田範明「NA1600クラスとも絡んでさらに暑くて疲れました。でもとても嬉しい！夜は宴会です」AE86 240 山口「暑かったです。ポジション的に前も後ろもいなくなっちゃって淡々と走っていました」MR2 谷田「スタート失敗しちゃいました。AE111と絡まないように走り切りました」シルビア15 山崎「コースレコードも更新したし、優勝もして大満足です」ロードスター N1 村上「新しいマシンでこのカテゴリーのマイスターたちに挑みにきました」と語った。



RESULT リザルト SILVIA・ALTEZZA	
Rank No.	Name
1	15 山崎 浩明
2	11 大山 雅樹



RESULT リザルト NA1600	
Rank No.	Name
1	36 大石 重之
2	37 秋元 優範
3	31 高橋 賢一



RESULT リザルト MR2	
Rank No.	Name
1	78 谷田 伸行
2	20 木邨 一吉



RESULT リザルト AE86	
Rank No.	Name
1	240 山口 崇
2	41 中村 徹
3	39 志村 忍
4	35 望月 守

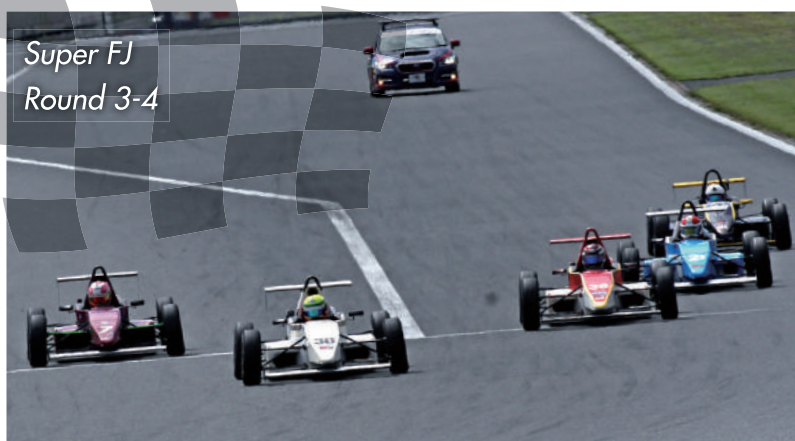


RESULT リザルト AE111	
Rank No.	Name
1	98 窪田 範明
2	91 船木 周一
3	18 塩岡 雅敏
4	17 白井 利明
5	74 大沢 雄哉
6	32 松川 智泰



RESULT リザルト ROADSTER N1	
Rank No.	Name
1	88 村上 博幸
2	2 大野 俊哉
3	10 雨宮 恵司
4	1 芝田 敦史
5	43 大井 正伸
6	6 秋月 義雄

Super FJ Round 3-4



今回は日曜日に第3戦・第4戦が行われるS-FJ富士シリーズ。開催が各地のサーキットと重なってしまった日程もあって、エントリーが5台と少々寂しいが、それでもレースは白熱した展開になった。日曜日朝一番、第3戦のスターティンググリッドを決める予選でトップタイムを出したのは30 マルQ・ガレ茶・ED・10V 木下藍斗の1'54.157。そこに7 ENATECH ZAP ED 中谷要太、36 アルピ玉三郎GIA湯田上ED 小村方喜章 1'54.841と続く。第3戦決勝ではやはりトップ3台が激しいバトル。オープニングラップでは、30 木下、36 小村方、7 中谷の順で戻ってくるもコンマ差に接戦。4周目のストレートで36 小村方がほんの少し前に出てトップを守るが最終ラップに30木下が前に出て最初にチェッカーを受けた。レース後30 木下は「序盤にシフトミスをしてしまいました。後半、自分を落ち着かせてトップを狙いました。もっとメンタルを鍛えないとね」と話している。第4戦はコースインのタイミングで雨が落ちてくる。ウェットコンディションが初めてのドライバーも多く混戦も予想されたが、30 木下がトップのままコンスタントに周回が重ね、途中から雨も上がり路面が場所によってはドライになってくるという難しいコンディションの中、30 木下は12週のレースをポールトゥウィンで2連勝を飾った。2位には36 小村方、3位7 中谷という結果。レース後30 木下は「初めての雨のスタートだったので慎重にいきました。小村方さんのペースも上がってくるとおもっていたので、なるべく前半に引き離したいと思いながら走っていました」と語った。

RESULT リザルト Rd.3

Rank No.	Name
1	30 木下 藍斗
2	36 小村方 喜章
3	7 中谷 要太
4	21 山田 健
5	38 羽場 智哉

RESULT リザルト Rd.4

Rank No.	Name
1	30 木下 藍斗
2	36 小村方 喜章
3	7 中谷 要太
4	38 羽場 智哉
5	21 山田 健

TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Virz Race Kanto Series Round 3



全4戦で争われるTOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 関東シリーズは第3戦を迎えた。参加台数が77台と多いため、2組に分けて予選が行われた。予選トップタイムでポールポジションを決めたのはB組トップの74 ネット千葉シュボルトVitz 松本英之の2'16.550。フロントローには108 犬印ADSファクター Vitz 峯幸弘 2'16.820。CVTクラスでは889 N中京GRガレージ小牧Vitz CVT 橋本達宏 2'22.312。決勝では74松本がトップで1 コーナーを抑え、2周目に中団グループがコカ・コーラコーナーで3台が絡むアクシデントが発生。そのために赤旗が提示されレースが中断となってしまう。再度グリッドに整列し、再スタートが切られると、108峯が74松本の背後にぴったりと付き、コカ・コーラコーナーで前に出たが、最後までトップ争いが続き、8週の決勝レースは108峯が制した。さらにその後ろでは3台が並んでチェッカーを受けるほど激しい3位争いが続いていた。2位には74松本、3位は206 N名古屋GRガレージVitz 木村建登となった。CVTクラスは510 戸田工業GR東京 VitzCVT 戸田和彦が優勝。レース後108峯「じっくりと前を攻めて後半で抜くつもりだったのですが、SCになって上手く抜けたので後は守り切りしました」510戸田「今まで2戦が0勝だったのが悔しくて、今回は絶対に勝つと周りに言っていました。そのとおりに勝ててとても嬉しい」と語った。

RESULT リザルト

Rank No.	Name
1	108 峯 幸弘
2	74 松本 英之
3	206 木村 建登
4	50 三浦 康司
5	62 松原 亮二
6	25 長山 等

RESULT リザルト CVT

Rank No.	Name
1	510 戸田 和彦
2	502 浅沼 直太郎
3	889 橋本 達宏
4	146 定方 伴元
5	100 百瀬 孝仁



L1 Series "Women's GT"



2017年から始まったこのシリーズは、「WOMEN IN MOTORSPORT」の一貫として開催され、女性のみで競われている。今回のWomen's GTは15台のエントリーで4クラスに分かれて戦われる。日曜日の予選ではGT L1クラスのT-Sportレーシング☆86 石井京子が2'10.017でポールポジションを獲得、フロントローにはGT L2クラス117 こまちゃんロードスター 小松寛子が2'15.093で並ぶ。決勝ではGT L1クラスが一台だけになってしまったため、安定してトップを守りきり10周の決勝を終えた。GT L2クラスも117 小松が2位以下を寄せ付けずに12秒余りの差をつけて優勝。GT FFクラスでは2番手スタートだった99 ADVICS桜織LDヴィッツ みなびよがオープニングラップでトップに立ち、そのまま逃げ切って優勝した。レース後の各クラス優勝ドライバーは、GT L1 346 石井「ピットの様子を見ながら走っていました。今までAE111とか86とかいろいろなレースを走ってきましたが初優勝です！とても嬉しい」GT L2クラス 117 小松「辻田さんに追われるかと思っていましたが、逃げ切れしました」GT FF 99 みなびよ「昨日のVitzと今日もちょっとやらかしちゃいましたが超楽しかった！途中から前も後ろも離れちゃって、クルージングみたいになっちゃいました」



RESULT リザルト GT L1

Rank No.	Name
1	346 石井 京子

RESULT リザルト GT L2

Rank No.	Name
1	117 小松 寛子
2	7 辻田 慈
3	17 加藤 沙也香
4	72 Jco IINUMA
5	13 藤井順子
6	28 勝川 優

RESULT リザルト GT FF

Rank No.	Name
1	99 みなびよ
2	33 洪銘蔚
3	89 中村 涼子
4	73 山口 和紗

JAF Local Championship F4 Series Round 8



RESULT リザルト H Class

Rank No.	Name
1	46 入榮 秀謙



RESULT リザルト

Rank No.	Name
1	47 徳升 広平
2	34 三浦 勝
3	56 RISING
4	99 早坂 公希
5	19 ハンマー伊澤
6	17 小倉 可光